



～刈った稲をはさ掛けにしたよ！～

(東中小学校)

かみふらの 議会だより

第 88 号

2015 年 10 月 25 日発行
発行 上富良野町議会

- 新しい議会構成が決まりました！ 2
- 第 3 回定例会 補正予算を可決ほか 5
- ズバリ ここが聞きたい!! 一般質問 8 名の議員が質問! 7

決まりました

議長に西村 昭教氏、

副議長に村上 和子氏を選出

就任あいさつ

議長 西村 昭教

議会議員改選後、初め

議員による投票で行われ、

特別委員会委員の選任、

の議会(第4回臨時会)

開票の結果、議長に西村

昭教氏、副議長に村上和

子氏を選出しました。

その後、議席の決定や

各常任委員会の委員、議

会運営委員会や議会広報

した。

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は

議長と副議長の選挙は



「議会の活動力を」

この度の町議会議員選挙で5名の新しい議員を含む14名の議員が4年間町民の代弁者として活動することとなりました。

先の臨時会において議長として3期目の職責を担うことになり、改めてその任を一生懸命に取り組む決意です。

議会に対する住民の要望、期待は時代の変革と共に複雑・多様化し、情報も様々な手段ですぐに伝えられる時代の中で議会の役割もますます大きくなっています。

少子高齢化時代を迎え、行政が抱える問題や課題も複雑・多様化し、しっかりと将来を見据えて対応していかなければなりません。議会の権能を十分に発揮し、住民の声や心をしっかりと反映していくことが大切です。常任委員会がもっと活性化する必要があります。議会の定数や議員報酬の課題もあります。住民の声をいかし、反映し、行政にどういかしていくのか、議会議員全員で共に考え知恵を出して切磋琢磨しながら町民の期待に応えていきたいと思っています。皆さまの温かいご指導、ご支援をお願いします。挨拶いたします。

新しい構成が

- ・総務産建常任委員会 7名
- ・議会運営委員会 6名
- ・議員会役員 5名
- ・富良野広域連合議会議員 3名

- ・厚生文教常任委員会 7名
- ・議会広報特別委員会 6名
- ・監査委員 1名

委員会のメンバーが決まりました。私たちの担当は、総務、農業、商業、観光などです。これらの課題に真剣に取り組み議論を尽くしてまいります。

また、上富良野町も高齢化と少子化の影響を受け、人口減少傾向にあります。この克服と対策こそが最重要課題と認識し、行政と町民の方々、議会が一体となってこの課題に立ち向かわなければなりません。

将来ともに、活力ある町として存在し続けるために、委員会も十分な協議を行い、将来に対し責任を果たしていきたいと考えていますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



総務産建常任委員会

委員長	中澤良隆
副委員長	中瀬実
委員	今村辰義、金子益三、荒生博一、高松克年、西村昭教



厚生文教常任委員会

委員長	佐川典子
副委員長	米沢義英
委員	岡本康裕、長谷川徳行、北條隆男、竹山正一、村上和一

私たちの常任委員会は皆さまの生活を豊かにするための子育てや保健、病院、介護、福祉、生活環境や教育全般に関するものなどを所管とした委員会です。

町民の皆さまにとって身近な暮らしの安全を優先に超高齢社会に起因する諸問題や人口減少に連動する少子化対策等への傾注が課題です。過去の委員会事例を参考に「健康づくり推進のまち」などや時勢の課題把握、調査研究を深めていく所存です。

今後も町政の進展に関与できる望まれる委員会として一丸となり、機能を果たしていきたいと思っておりますので、皆さまのご指導ご理解をお願い申し上げます。

議会運営委員会



委員長 金子益三
副委員長 岡本康裕
委員 中澤良隆
佐川典子
今村辰義
北條隆男

議会広報特別委員会



委員長 米沢義英
副委員長 高松克年
委員 北條隆男
竹山正一
荒生博一
中瀬実

議会役員



会長 米沢義英
副会長 荒生博一
理事 岡本康裕
監事 今村辰義
竹山正一

監査委員



今村 辰義

富良野広域連合

議会議員



岡本康裕
長谷川徳行
金子益三

議会運営委員会は主に、議会の日程を決定し、要望・陳情などについて審議、議長の諮問があつた事項の調査・審査を行う委員会です。

この他にも近年は、議会報告会や懇談会の開催、議会改革についても審議を図ります。

これからも「開かれた議会」への議会改革に向け、不断の努力で取り組み、わかり易く住民に身近な議会に向けて運営をしてまいります。

地方分権が進む中で町長と議会が両輪として、円滑な運営に努めてまいりますので、2年間よろしくお願いいたします。

■ 9月補正予算の状況 ■

会 計 名		補正額	総予算額
一 般 会 計		9452 万 5 千円	80 億 2178 万 4 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険	1400 万円	15 億 6706 万 4 千円
	介 護 保 険	80 万円	9 億 711 万 4 千円
	ラベンダーハイツ事業	5 万円	2 億 9395 万 9 千円
企業会計	収益的支出	0 円	9 億 5552 万 9 千円
	資本的支出	3 万円	5479 万 2 千円



上中陸上部の練習のようす

補正予算

一般会計補正予算を可決

普通交付税や臨時財政対策債の確定、給与所得の増による個人町民税と固定資産税の増額、7月から9月の集中豪雨による災害復旧費、道営経営体基盤整備事業量増加による増額、ジュニアオリンピック陸上競技大会出場経費など、総額を80億2178万4千円とする補正予算を可決しました。

中学校体育大会

出場経費を助成

上富良野中学校陸上部の生徒3名が9月16日に行われた全国ジュニアオリンピック北海道予選を兼ねた北海道ジュニア陸上競技大会で優勝するなどし、10月23日から3日間、横浜市で開催される「全国ジュニアオリンピック陸上競技大会」へ出場するため参加経費の一部、37万円を助成します。

各特別会計の

補正予算を可決

寄付金の財源組み換えや、介護給付費負担金の確定、退職医療費給付費の増加による療養給費交付金の増額など、総額1488万円を増額しました。

意見書を国などに 提出しました

林業・木材産業の成長産業化に向けた
施策の充実強化を求める意見書

森林の公益的機能の維持増進や森林資源の循環利用に向け森林整備加速化・林業再生対策等を活用し植林・間伐や路網、山地災害、木造公共施設の整備などを支援してきました。

しかし、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、林業・木材産業の成長産業化のための施策の強化を図り、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策や林業、木材産業の振興、森林整備等と雇用安定化などを求める意見書です。

条 例

住民票などの

交付手数料を改正

マイナンバー制度の導入による個人番号カードの再交付手数料や住民票の世帯票交付手数料を追加しました。

- ・住民票・戸籍の写し、証明書の交付
個人票一枚につき 200円
世帯票一枚につき 400円
- ・個人番号カードの交付
一件につき 800円
- ・通知カードの再交付
一件につき 500円

人事案件



三熊 邦彦さん（再）
東7線北16号

教育委員会委員の任期が満了するため、三熊 邦彦さんを再任することに同意しました。

社教センター利用の

期間券を創設

年間を通じ安全で安定的な運動環境を整備することにより、運動不足の解消や健康の保持増進などのため、新たに「3カ月券」と「12カ月券」を創設しました。

- ・3カ月券 3千円
- ・12カ月券 9千円

※これらの「期間券」に冬季使用の割り増しは適用されません。

選 挙

選挙管理委員と

補充員の選挙

選挙管理委員とその補充員は地方自治法により、議会で選挙すると規定されているため、その規定に基づき指名推薦による選挙を行い、左記の方々が当選されました。
任期：平成27年11月1日～平成31年10月31日

選挙管理委員

氏 名
志 賀 和 江
高 橋 美和子
北 川 正
原 一 志

補充員

順位	氏 名
1	中 澤 恵久子
2	奥 田 哲 也
3	添 田 ありさ
4	四 釜 啓 美

第3回臨時会（7月13日開催）

平成27年度一般会計補正予算を可決

全日本空手道錬成大会、全日本都市対抗少年野球淡路島大会へ出場する費用や住宅リフォーム助成の増額などにより、61万3千円を増額しました。

第4回臨時会（8月31日開催）

議会構成を決める選挙などを実施

結果の詳細は2～4ページをご覧ください。

第5回臨時会（9月7日開催）

平成27年度一般会計補正予算を可決

歩道改修工事・排水路整備等の事業費の増や吹上露天の湯周辺の落石防護ネット改修費の増、調整交付金事業積立の減などにより、84万円を減額しました。

第20号橋・第21号橋の請負契約変更を可決

橋梁工事の旧橋解体による廃棄物が想定以上の増量となったため、設計の変更を可決しました。

●○議会懇談会のご案内●○

議会の活動や行政の動きを広く知ってもらい、町民の皆さまから意見を頂くため、議会懇談会を下記の日程で開催します。

開催日 11月27日（金）

13時30分～東中多世代交流センター
草分防災センター

18時30分～かみん
セントラルプラザ

どの会場にも参加できますので、お気軽にお越しください。
たくさんのご来場お待ちしております。

ズバリ

ここが聞きたい！

一般質問



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
8	今村 辰義 議員	① 上富良野中学校前町有地の支障木伐採後の跡地の利用と整備について ② 東明会館横の東町団地児童遊園にトイレの設置を
9	金子 益三 議員	① 上富良野町手話条例制定について ② A E Tの複数名配置を
10	北條 隆男 議員	① 歩道と街路灯の新設について ② 除雪について
11	高松 克年 議員	① 高齢者、独居老人世帯の除雪後における戸口排雪の問題について ② 農業振興資金及び生産振興補助金の必要性について ③ T P Pの締結後の上富良野農業の影響と農業振興策の方向性について ④ 公民館分館施設の維持管理について
12	荒生 博一 議員	① 十勝岳山麓ジオパーク構想について ② 観光振興計画について
13	中瀬 実 議員	① 農業振興について ② 農業後継者対策について ③ 家族経営協定締結について ④ 農業者年金の加入促進について
14	中澤 良隆 議員	① 市民後見人の養成と周知について ② 外国人観光客の受け入れについて
15	米沢 義英 議員	① 防災対策について ② 子どもの貧困対策について ③ 担い手の育成について ④ 子育て支援について ⑤ 教育大綱について

—今村 辰義 議員—

中学校前町有地の樹木伐採後の利活用を

当面は安全対策を講じ、

緑地帯として保全する（町長）



今村議員

上富良野中学

校前の町有地は、招魂祭や神社祭においてスポーツ協賛事業として銃剣道大会を行っている。

また、町民の方々が主に冬期間ラジオ体操をそれぞれ行っている。

伐採後は切り株が障害になり、見た目も良くない。使用実績も考慮した、跡地の利活用について伺う。



上富良野中学校前の町有地

向山町長

この町有地の

の樹木は、立ち枯れや虫食いなどによる浸食が進んでいる樹木がほとんどであったため、秋の台風シーズンや積雪期における倒木などの危険の除去を目的として伐採したので、利活用については具体的な考えを持ち合わせていない。当面は、安全対策を講じつつ緑地帯として保全に努める。

建 設

東町児童遊園にトイレの整備を

トイレ整備は想定していない

課題として認識する（町長）

今村議員

東明会館横の

遊園は子ども達の遊び場になっている。トイレがないため、我慢できずに用でしてしまい、告げ口されることもある。衛生上もよくない。簡易トイレでもよいので、トイレの整備が必要では。

向山町長

この遊園は公

営住宅法に基づき整備しており、条例などにも公園として位置付けしていないので、引き続き、緑地としての管理を行う。トイレの整備は想定していない。

今村議員

遊具と同様に

地域活性化の一環としてトイレの整備はできるのでは。

向山町長

公園ではない

のでその様な考えは持ち合わせていない。

今村議員

コミュニティ

広場や緑地にトイレが整備されている所があるのはなぜか。現に緑地にトイレがある。同様な考えで特例として整備できないか。

向山町長

地域の要求や

また、市街地の公園分布は均等とは思えないが、必要性に基づき整備している。指摘のように課題があることは十分認識している。



東明会館横の東町児童遊園



条例

—金子 益三 議員—

上富良野町手話条例の制定を 条例制定に向け取り組んでいく（町長）



ボランティアの手話サークルの皆さん

金子議員 聴覚障がい者への、手話の環境が整えられておらず、手話の理解・広がりを支え、手話を使って安心して暮らせるために条例制定が必要である。

向山町長 道内では石狩市、新得町、鹿追町、名寄市で手話条例が制定され、北海道でも「手話言語条例」の制定を検討する表明をした。当町では、富良野圏域で、意思疎通支援事業、手話奉仕員養

成事業を実施して、庁舎窓口には、手話の指文字表を置き、講演会での手話通訳士の配置など、町民に理解を深めている。条例制定の意義は理解でき、必要性について検討する。

金子議員 来年4月に条例制定をする市町村が多く、当町も早急に条例制定が必要である。
向山町長 議員と同様、必要性を強く感じ、今後もし引き続き進めていく。

教育

外国語指導助手の複数名配置を

受け入れ態勢など、

具体的な検討を進める（教育長）

金子議員 国は平成28年に、国際社会でも活躍できるため、小学校からの英語教育を強化する学習指導要領の全面改正に方針を固めた。当町の英語教育を伸ばすために、現在の1名から複数名配置し、より多くの時間、内容が充実した英語教育が望ましいと考える。

たす役割が、更に重要になると考え、本年8月から上富良野中学校に勤務場所を移し、生徒との係わる機会を多くした。この度の上富良野町教育大綱においても、外国教育の充実を重点施策に掲げAETの複数名配置の方

金子議員 教育は国家百年の計であり、大切な事と考える。
服部教育長 今後重要課題と考え進めていく。

服部教育長 町は、国際化の進展が進む中、平成4年からカナダの友好都市から1名AETを招へいし、町内の各小中学校で多くの子ども達と触れ合うなど、英語による活動を通じ、国際感覚を育て、英会話力を高める活動を行ってきた。小学校5・6年生の英語による外国語活動では、AETが担任と共に指導を行っている。今後AETの果



子どもと親しむAET



—北條 隆男 議員—

町道北 27 号道路に歩道と街路灯の新設を

交通安全対策は重要であり、
十分配慮したい（町長）

土
木



歩道のない町道北 27 号道路

北條議員

町道北 27 号道

路には歩道や街路灯の設置がない。大型車両の通行も多く、ランニングや散歩、パークゴルフ場へ通う人も多い。通学路として利用する生徒も見られる。歩行者や自転車での通行の安全のためにも歩道と街路灯の新設が急務ではないか。

向山町長

北 27 号道路はパークゴルフ場や日の出公園があり、観光客の利用も多いため通行量が多

い。また、歩行者や自転車などの利用も多く、交通安全上課題があると認識している。

しかし、西 1 線北 27 号の踏切と交差点改良が必要であり、また、橋梁の拡幅と用地補償などの課題もあるため、道路整備計画に至っていない。

また、街路灯については現在、設置の予定はない。今後、財源確保や優先性などを十分に検討し、方向性を探る。

土
木

問題点を洗い出し、除雪の改善を

町道の維持管理業務委託方式の中で

実施する（町長）

北條議員

除雪の民間委

託から 3 年が経過したものの、「町が除雪していた時に比べて除雪が悪くなった」、「家の出入りに大量の雪が残っている」といった苦情の声が聞こえる。4 年目となる

委託業者に指示し、改善を図っている。また、町と委託業者の協議は降雪前とシーズン中に 2 回行っている。町民には除排雪作業の方法とご協力依頼を毎年広報でお知ら

せをしている。苦情件数は年々減少傾向にあり、住民の皆さまには各家庭でのご協力をお願いし、冬場を快適に過ごせるよう、除雪サービスの向上を目指したい。

向山町長

除排雪の苦情

などの対応は住民や町政懇談会などご意見やご要望を聞き、その都度、

「できないこと」を町民に公表しては。また、除雪開始から 2 カ月をめどに出してきた苦情をもう一度話し合いの場を設けて改善できないか。



作業中の除雪ロータリー



農業

—高松 克年 議員—

農業振興資金、生産振興補助金の必要性は JAなどの関係機関と調整し、 地域農業対策を検討する（町長）



助成を受けて設備整備した水耕栽培のハウス

高松議員

新卒Ｕターン

Ｉターン就農者の新技術導入や高収益作物への誘導のためにも農業振興資金などの補助金が必要では。

向山町長

以前は町とJAが財源を確保し、施設などの初期投資に助成してきた。今後も時代に対応した営農支援を検討したい。

高松議員

本年度、予算化はされているものの、具体的な計画が無く、第7次農振計画では数多く

の項目があるにもかかわらず、支援策がとられていない。

向山町長

資金の利用申請は無いが活用すべき資金として必要性を認め、

予算を計上している。戦略性を持つ作物への充実を考えたい。

高松議員

JAと対応の協議が必要ではないか。

向山町長

農業者やJAと戦略上の思いを共有し、バックアップができる体制にしたい。

福祉

独居高齢者世帯の

戸口排雪を支援すべきでは

社会福祉協議会に委託し

除雪サービスを実施している（町長）

高松議員

除雪の民間委託から4年目を迎え、高

齢者、独居高齢者世帯の戸口排雪について今一度配慮をすべきではないか。今冬はどの様に対応し、支援するのか。

向山町長

在宅福祉サー

ビスの一環として、社会福祉協議会に委託し、除雪サービスを昨年は110戸1800回行った。

町民税非課税世帯で、除雪困難な高齢者、障がい者世帯が対象となり、今後も増加することが見込まれ、独居高齢者に対しての除雪も含め、生活支援のあり方について地域による支援の仕組みが必要。

高松議員

65歳以上の独居高齢者世帯472戸、高齢者世帯691戸、独



高齢者宅の除雪をするボランティアのようす

居高齢者の居住地域は郡部63戸、市街地409戸であり、男女別では男性145人、女性327人、うち2割しかサービスを

受ける事ができない。この町で暮らしたい人々に対応するには、十分な回

数といえないのでは。

向山町長

これらの人々に公平、公正なサービスでの対応が必要。自助努力を惜しまず、それが及ばない世帯には支援する。地域の共助にも期待したい。

— 荒生 博一 議員 —

十勝岳山麓ジオパーク構想の現在のプランは 平成 29 年度の認定を目指して推進する（町長）



荒生議員

平成 29 年度の日本ジオパーク認定登録を目指し、美瑛・上富良野両町による協議会が設立され、「町全体でこの活動を盛り上げましょう」と広報掲載されていた。具体的に町民の方がどのように参加していただくのか。また、ジオサイトの候補地やジオガイドの育成などはどのように考えているのか。

向山町長

ジオパークは



ジオパーク認定を目指す十勝岳（安政火口のように）

貴重な自然遺産を保全しつつ、教育や地域振興に活用していく地域としての活動が重要である。郷土をさぐる会やフットパス、ヒルクライムなどの活動組織の輪を広げ、連携を図りポトムアップ型を目指す。ジオサイトやジオガイドの育成、ジオツアーの企画立案も進めていくことが重要であり、地域の方々のご協力を頂き活動を促進していく。

計 画

観光振興計画をどのように

実践していくのか

検証を行い、確立を目指す（町長）

荒生議員

観光振興計画

の策定から3年が経過した現在、ガイドの育成など、実現に向けたプランはどのように考えているのか。

また、ジオパーク認定と同時に「かみふらの観光マイスター」などの制度を作っては。これにより、新しい雇用につながるのではないかと。町長の考えを伺う。

向山町長

前期3年間は

観光ガイドのスキルアップを目的にした研修会やモデルルート設定に向けたワーキング作業を進めてきた。「かみふらの観光マイスター」については、今後の観光振興に関する関係機関との協議の中で、本制度をはじめ、実践的な戦略につながる制度について研究・検討



フットパス参加者へガイドをするようす

したい。
ツアーガイドなど、観光人材の育成は大変重要と受け止めており、観光振興においても果たす役割

割が大きいことから活動内容のPRや情報提供を進める中から新たな雇用につながることを期待している。



農業

—中瀬 実 議員—

今後の上富良野農業振興の実践計画は 7次振興計画に基づいて道筋をつける（町長）



求められる農業支援策

中瀬議員

7次農業振興

計画の策定2年目に当たり、町の基幹産業として

実践計画を策定して推進し、具現化を図るとある。

実践計画をどのように考えているのか伺う。

向山町長 町の農業政策において大きな課題が山積している状態にあり、優先課題を明らかにし、実効性のある実践計画を

策定して各農業関係機関と連携し、期間内に道筋をつける。

中瀬議員

施策として実践する考えは。

向山町長 より良いものにするため、審議会の最終答申を受け、手を付けられるものは施策として慎重に経営の安定化を図られるように方向性を見出したい。

農業

農業者年金の加入促進を

未加入の農家に対して

制度の周知を図る（農業委員会会長）

中瀬議員

現在の上富良野町の農業者の加入件数

と今後の加入推進をどのように考えているのか伺う。

青地農業委員会会長 8

月現在の農業者年金加入者は81名、うち男性69名女性12名となっている。このうち、一定の要件を満たした場合に国が保険料の一部を補助する政策支援が行われており、町では23名、男性21名、女性2名が対象となっている。

未加入の農家に対しては、パンフレットの送付や「委員会だより」などにより制度の周知を行っている。今後も加入者の拡大に取り組む。

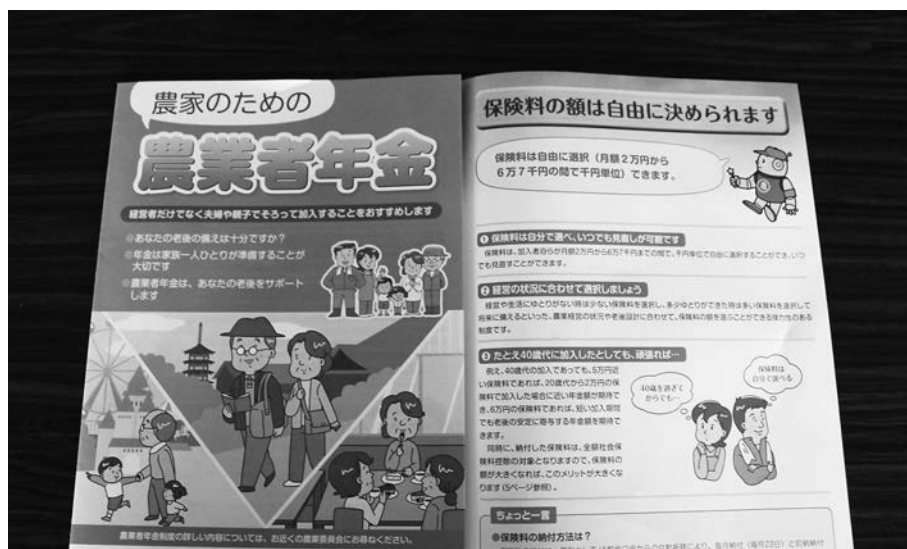
中瀬議員

未加入の農業者は何名いるか。

北越事務局長 農業者年金は国民年金の第1号被

保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の人が入れる年金であり、昨年度は85名にダイレク

トメールを送付し、未加入者へ加入の促進を行った。



農業者年金のパンフレット



—中澤 良隆 議員—

認知症対策として「市民後見人」の養成を 養成講座の受講料助成の具現化を進める（町長）

福
祉



後見制度のパンフレット

中澤議員

認知症などで判断能力が不十分な人に代わって財産管理や、契約行為を手伝う「市民後見人」の養成が急務と考える。養成をどのように進めてきたか伺う。

向山町長

近隣町村で行われている養成講座の情報を提供を行っている。

中澤議員

養成講座の受講料は高額である。助成の考えは。

向山町長

受講者に助成

が必要と考えている。具体的な助成策について今後検討を行い、具体化につなげるよう進める。

中澤議員

住民への周知をどのように進めてきたか。

向山町長

町のホームページやパンフレット、出前講座で周知に努めている。

また、研修会の開催についても検討していく。

観 光

外国人観光客受け入れの環境整備と戦略は

町内2か所に

「STOP」の交通標識を設置（町長）

中澤議員

最近、富良野地方にも大勢の外国人観光客が訪れている。

観光がもたらす経済波及効果は大きい。外国人観光客の受け入れ態勢の整備と戦略を伺う。

向山町長

受入れ体制の整備は、航空便の増便、宿泊施設の充足などが大きな要素である。課題解決に向けて関係機関と将来展望が見出せるように取り組む。

中澤議員

外国人観光客による交通事故、トイレや浴場使用のマナーなどの問題点が見受けられ、その対策は。

向山町長

レンタカーによる一時停止違反の出会い頭の衝突が多いことから、町内2か所に「STOP」と表示した町独自の標識を設置した。

の標識を設置した。

マナーについては、多言語によるチラシを作成し、啓蒙を図った。

中澤議員

外国語表記の看板や交通標識の整備を必要とする整備を

向山町長

必要とする整備を

進める。

中澤議員

町民の「おもてなしの意識」の向上が必要では。

向山町長

観光協会や事業者の皆さんと連携を図り進めていく。



日の出公園を訪れるラベンダー観光客



農業

—米沢 義英 議員—

農業担い手の育成を 農業後継者などの育成を進めたい（町長）



農作業のようす

米沢議員 町の農業戸数が減り、農業の担い手の確保と育成が求められている。今後の対応は。

向山町長 上富良野町農業の将来を考えると、担い手の確保と育成は何よりも重要な課題であると認識している。

町においても、新規就農等に係る制度を設け、担い手確保に向けた事業を展開している。しかし、十分な成果を得る状況に至っていない。

新規就農に関する相談は、例年数件寄せられ、

面談に来るケースもあるものの、その多くは目標設定などの計画がないなど、就農を後押しできるケースはほとんどないのが実態である。就農相談を通じて、受け入れ側の体制整備の課題も少しずつ明らかになってきており、新規就農者や後継者の育成など、担い手対策は重要であり、農業関係各機関との連携を図りたい。また、女性農業者が様々な場面で農業ができるように、今後も支援をしたい。

子育て

中学生までの医療費の無料化を

医療費の無料化は想定していない（町長）

米沢議員

町長は、中学生までの医療費の無料化について、バランスの取れた子育てを支援することが重要だと述べ、現在は考えていないと述べている。この間の選挙戦の中で、多くの子育て世代の人から中学生までの医療費の無料化を望む声が寄せられ、今後の対応は。

向山町長

町独自の事業として子育て世帯の負担軽減を図るため、就学前の乳幼児の医療費全額と小学生の入院医療費の一部助成を実施している。

これまでも、子育て支援として、2歳未満の乳幼児がいる世帯へのごみ袋の交付、小学5年生と中学2年生を対象にした、かみふつ子健診を実施している。

また、今年度は、小児



中央保育所の園児

任意のロタウイルス、おたふくかぜなどの予防接種の無料化実施に取り組む、バランスの取れた子

育て施策に力点を置いていることから、現在は、中学生までの医療費の無料化は、想定していない。

議会の窓



8月25日	新任議員研修会
26日	議員協議会
31日	第4回臨時会（初議会）
9月7日	全員協議会
	第5回臨時会
	議会運営委員会
14日	厚生文教常任委員会
15日	総務産建常任委員会
16日	議会運営委員会
17日	全員協議会
	議会広報特別委員会
28日	第3回定例会（1日目）
29日	第3回定例会（2日目）
	全員協議会
	議会広報特別委員会
10月5日	富良野沿線市町村議会議員研修会
6日	町内行政調査
7日	総合戦略特別検討委員会
	厚生文教常任委員会
9日	議会広報特別委員会
14日	総合戦略特別検討委員会
	議会広報特別委員会

◆全道町村議会議員研修会、先進地行政調査を行いました。

7月7日に開催された全道町村議会議員研修会に議員10名が参加しました。
また、翌8日には北海道科学大学で「地方創生と地域連携協定」について調査しました。



次の定例会開会予定は…

12月15日（火）・16日（水）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事室までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

■おわびと訂正

議会だより87号（平成27年7月25日発行）5頁の振興公社の経営状況の報告の中で、誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

平成26年度予算額合計（誤）	3011万7千円
（正）	3142万3千円
決算額合計（誤）	3909万5千115円
（正）	2999万5千095円

ひとりごと…

■今年の夏は特別に暑い夏であったような気がします。

■国会での安全保障関連法案の強行採決以降も、廃止の運動が繰り広げられています。

■多くの国民が「主権者として何をしなければならぬのか、気付き始めている」この運動は止められないと感じます。

■時の流れは早いもので、田んぼでは稲刈りが終わりに近づき、深まりゆく秋を感じる日々です。

■8月に議会の改選が行われ、14名の議員が選ばれました。

読者の皆さんに議会の様子をわかりやすく伝えるために、新たな6人の議員と議会事務局の2名で編集作業をすることになります。これからもよろしく願います。

（米沢 記）

議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	高松 克年
委員	北條 隆男
	竹山 正一
	荒生 博一
	中瀬 実